



広域

くろかわ



地域の人口・世帯数

	人口	世帯数
富谷市	52,227	20,292
大和町	27,991	12,371
大郷町	7,657	2,944
大衡村	5,520	2,057
計	93,395	37,664

～子どもたちへの 防火防災普及活動～

8月6日(日)に第29回まほろば夏まつりにおいて、当消防本部ではこども消防車や顔出しパネルの展示を行いました。実際に車両に乗った子どもたちの輝いた笑顔を見ることができ、中には職員の真似をして敬礼をする子や、将来は消防士になりたいという子もいました。

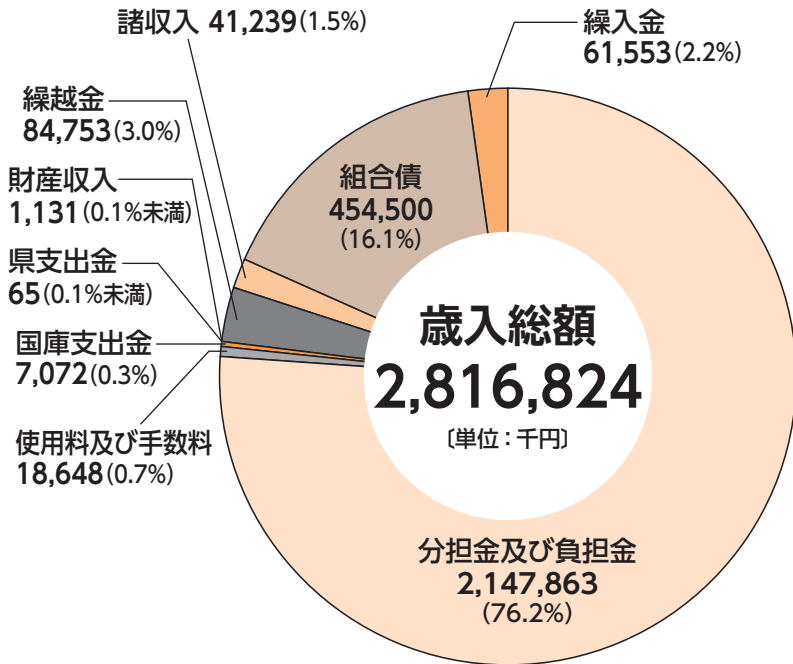
令和4年度 決算報告

令和5年第4回議会定例会で、令和4年度の黒川地域行政事務組合一般会計、介護認定審査会特別会計、障害支援区分認定審査会特別会計、病院事業会計及び訪問看護ステーション事業会計の決算が認定されましたのでお知らせします。

一般会計

歳入総額は28億1,682万4千円であり、前年度と比較して、6億5,505万6千円(30.3%)の増となりました。組合の主な財源は各市町村からの負担金で、その内訳は下段のとおりとなっております。

歳入



歳入説明

分担金及び負担金	当組合を構成する市町村からの負担金
使用料及び手数料	黒川浄斎場の使用料、し尿及び浄化槽汚泥処分手数料、消防法に規定する危険物の許認可に係る手数料等
国庫支出金	福島県沖地震で被災したごみ処理施設の災害復旧に対する補助金等
県支出金	県から移譲された事務に対する交付金
財産収入	財政調整基金の預金利子や車両売却による財産売却収入等
繰入金	財政調整基金からの繰入金
繰越金	前年度の会計で収入から支出を差引いた本年度会計の繰越金
組合債	公共施設整備等のための借入金
諸収入	上記以外の収入

負担金内訳表

(単位：千円)

各種会計	構成市町村	富谷市	大和町	大郷町	大衡村	合計
一般会計		691,545	807,310	343,911	305,097	2,147,863
一般会計内訳	総務費・議会費	48,184	32,869	19,942	18,636	119,631
	民生費	20	20	20	20	80
	衛生費	23,695	338,969	137,066	126,945	626,675
	消防費	619,646	435,452	186,883	159,496	1,401,477
介護認定審査会特別会計		4,620	4,130	2,119	1,613	12,482
障害支援区分認定審査会特別会計		338	295	179	102	914
病院事業会計		49,402	285,004	71,252	69,352	475,010
合計		745,905	1,096,739	417,461	376,164	2,636,269

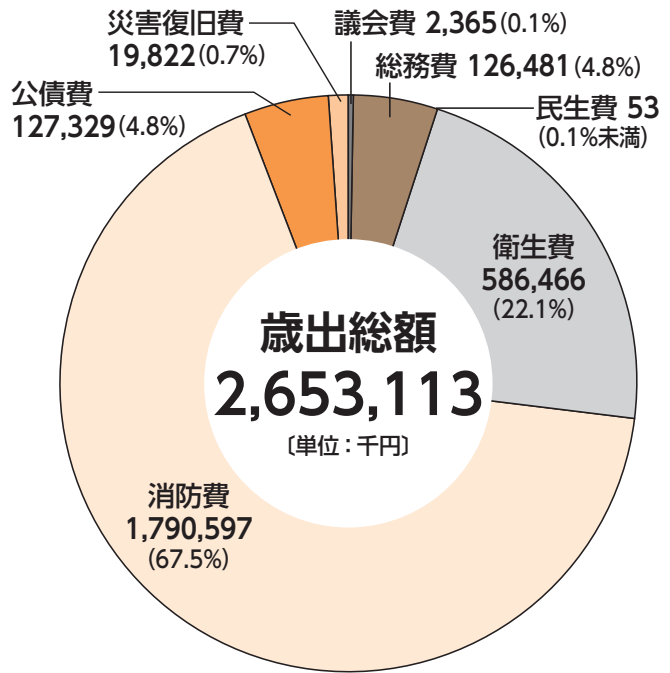
- 富谷市はごみ処理を市単独で行っているため、衛生費のうちのごみ処理費に係る経費の負担はありません。
- 訪問看護ステーション事業会計に係る構成市町村の経費の負担はありません。

歳出

歳出総額は26億5,311万3千円であり、前年度と比較して、5億8,609万8千円(28.4%)の増となりました。主な実施事業につきましては、下段のとおりとなっております。

主な事業 (単位：千円)

事業名	事業費
衛生費	
保健衛生総務費	1,870
火葬場費	17,193
し尿処理費	19,910
ごみ処理費	53,900
最終処分場費	15,797
消防費	
常備消防費	3,289
消防施設費	520,630
庁舎建設事業費	10,670
災害復旧費	
ごみ処理施設災害復旧費	2,310
消防施設災害復旧費	2,970



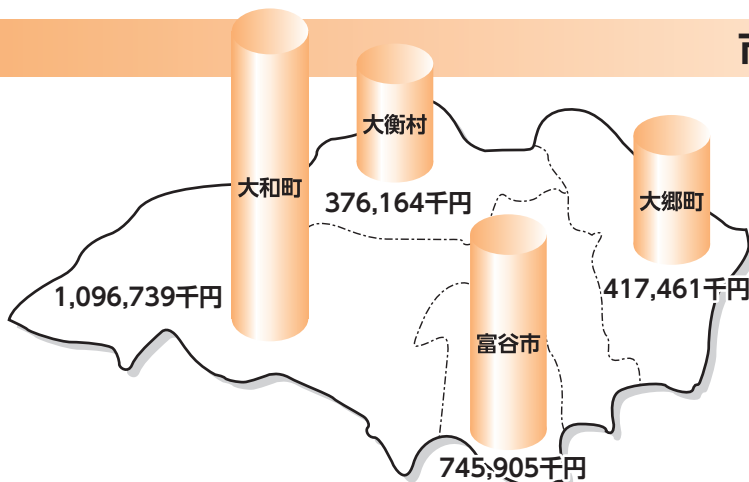
歳出説明

議会費	議会の開催に要した経費
総務費	人事や給与の管理、事務所庁舎等の管理、広報誌の発行、監査等に要した経費
民生費	老人ホーム入所判定委員会の開催に要した経費
衛生費	黒川浄斎場(火葬場)、環境衛生センター(し尿処理)、環境管理センター(ごみ処理)、一般廃棄物最終処分場の各施設の運営に要した経費
消防費	火災、救急の出場、火災予防業務、救急救命に要した経費
公債費	地方債の元利償還に要した経費

差引

歳入歳出差引算残額は1億6,371万1千円で、そのうち翌年度への繰り越すべき財源は6,172万7千円、実質収支は1億198万4千円となり、5,100万円を財政調整基金に積み立てました。

市町村負担金(各種会計合計)



当組合は、構成市町村(富谷市、大和町、大郷町、大衡村)の事務を共同処理しており、構成市町村からの負担金が主な財源です。

介護認定審査会特別会計

介護保険法に基づき、要支援、要介護についての二次判定をするための審査会を年間100回（うち82回は新型コロナウイルス感染症対策により書面審査）開催し、審査件数2,620件の適切な判定を行いました。

障害支援区分認定審査会特別会計

障害者総合支援法に基づき、障害支援区分を判定するための審査会を、年間12回（うち10回は新型コロナウイルス感染症対策により書面審査）開催し、審査件数161件の適切な判定を行いました。

(単位：千円)

区分	歳入	歳出	差引	摘要
介護認定審査会特別会計	12,725	11,665	1,060	介護認定審査会の開催に要した経費
障害支援区分認定審査会特別会計	953	905	48	障害支援区分認定審査会の開催に要した経費

※介護認定審査会特別会計・障害支援区分認定審査会特別会計における、歳入歳出差引残高は、翌年度へ繰越しました。

病院事業会計

公益社団法人地域医療振興協会に管理運営を委ねて18年を経過する中、指定管理者においては、医師体制の充実を初め、介護事業、保健予防事業など着実に地域医療の充実に努めています。

訪問看護ステーション事業会計

病院事業と同様、公益社団法人地域医療振興協会に管理運営を委ねています。

在宅で生活を保持できるように、個々の利用者のニーズに応じた訪問看護サービス事業を提供しました。

(単位：千円)

区分	収入	支出	差引	摘要	
病院事業会計	収益的収支	205,629	386,161	▲180,532	病院の経営状況
	(医業)	(10,000)	(356,143)	(▲346,143)	医業サービス提供による収支
	(医業外)	(195,624)	(29,976)	(165,648)	医業サービス以外の収支
	(特別損益)	(5)	(42)	(▲37)	過年度損益の修正
	資本的収支	407,083	407,081	2	病院施設、設備の整備
訪問看護ステーション事業会計	収益的収支	1	0	1	訪問看護ステーションの経営状況
	(事業)	(0)	(0)	(0)	訪問看護サービス提供による収支
	(事業外)	(1)	(0)	(1)	訪問看護サービス以外の収支

患者数 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：人)

診療科	一般病棟										回復期病棟	
	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	皮膚科	合計		
入院	延	18,344	0	1,871	5,030	7	0	0	97	0	25,349	15,605
	1日	50.2	0	5.1	13.8	0.1	0	0	0.2	0	69.4	42.8
外来	延	29,880	2,225	7,394	4,405	1,809	1,527	1,268	4,078	1,739	54,325	—
	1日	101.6	10.3	30.3	18.1	8.0	16.2	13.5	19.6	19.3	185.4	—

令和4年度公営企業会計資金不足比率について

公立黒川病院の経営状況 “資金不足なし”

令和4年度決算に基づき算定された公営企業会計は、病院事業会計、訪問看護ステーション事業会計とも資金不足額がなく、資金不足比率は算出されておりません。

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
病院事業会計	—	(20.0)
訪問看護ステーション事業会計	—	(20.0)

備考

- 1 資金不足比率とは、公営企業会計において、営業収支に対する手持ち資金の不足額の割合のことであり、数値が低いほど健全な経営状況であるとされているものです。
- 2 資金不足額がない場合は「—」と標記しています。
- 3 経営健全化基準とは、資金不足比率がどのような状況にあるのかを判断する基準として設けられているものです。資金不足比率が経営健全化基準を超えた場合、経営健全化計画を策定しなければなりません。

議会報告

❖ 令和5年第3回臨時会（令和5年7月4日） ❖

議案第17号 令和5年度黒川地域行政事務組合一般会計補正予算（第1号）
【議案は可決されました】

❖ 令和5年第4回定例会（令和5年8月8日） ❖

- 議案第18号 黒川地域行政事務組合火災予防条例の一部を改正する条例
議案第19号 令和5年度黒川地域行政事務組合一般会計補正予算（第2号）
認定第1号 令和4年度黒川地域行政事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第2号 令和4年度黒川地域行政事務組合介護認定審査会特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号 令和4年度黒川地域行政事務組合障害支援区分認定審査会特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号 令和4年度黒川地域行政事務組合病院事業会計決算の認定について
認定第5号 令和4年度黒川地域行政事務組合訪問看護ステーション事業会計決算の認定について
報告第1号 令和4年度黒川地域行政事務組合公営企業会計に係る資金不足比率の報告について

【全ての議案が可決認定されました】

一般質問

質問者 千坂 裕春 議員（大和町）

消防年報について

問 発行の目的として、今後の消防防災行政の合理的な運営と消防力の充実強化に資するとともに、消防行政の実態を広く一般に紹介し防災思想の高揚を図ることを目的として作成したものと記載されている。以下に理事長に伺う。

① 発行部数と配布先は。

② 例えば、防火対象物立入検査実施件数の項目では、実施件数の記載と併せて、実態をより詳細に把握できる改善指摘件数、改善件数の記載を併せてすべきと考えるが。

答

発行部数については、100部となり、配布先については、構成市町村、組合議会議員をはじめ、県内各消防本部などとなっております。

また、組合ホームページにも掲載し、広く周知しているところです。

防火対象物立入検査実施件数の項目については、重大な違反から軽微な違反まで多様であり、違反の多くは軽微なものであることから、当消防本部では掲載しておりません。

なお、自動火災報知設備など未設置の重大な消防法令違反がある対象物については、「違反対象物公表制度」に基づき、組合ホームページで公表しておりますが、現在該当する対象物はありません。

今後も、黒川地域の安心・安全確保のための情報提供に努めてまいります。

人事行政運営状況の公表

地方公務員法の規定により、職員の任用、給与などの人事運営状況についてお知らせします。
詳しくは、組合のホームページ (<https://www.kurogyou.jp>) をご覧ください。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

① 職員の任免に関する状況

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

区分	行政職	消防職	労務職	医療職	合計
採用	1人	5人	0人	0人	6人
退職	0人	4人	1人	0人	5人

*退職の内訳
定年退職4人
普通退職1人

② 職員の定数の状況

(令和4年4月1日現在)

区 分	条例定数	職員数
理事会の事務部局	35人	29人
消防の事務部局	167人	149人
計	202人	178人

③ 部門別職員数の状況 (各年4月1日現在)

区 分			職 員 数		対前年増減数
部 門			令和3年度	令和4年度	
普通会計部門	一般行政部門	総務	10人	12人	2人
		民生	1人	1人	0人
		衛生	16人	15人	▲1人
	消防部門		147人	149人	2人
	小 計		174人	177人	3人
公営企業等会計部門	病院部門		1人	1人	0人
合 計			175人	178人	3人

(注) 1 職員数は特別職を除いた職員数です。

2 職員の給与の状況

① 人件費の状況 (令和4年度普通会計決算)

区 分	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)	(参考) 令和3年度の人件費率
令和4年度	2,665,700千円	164,818千円	1,209,343千円	45.4%	57.1%

② 職員給与費の状況 (令和5年度普通会計当初予算)

区 分	職員数 A	給 与 費			計 B	1人当たり 給与費(B/A)
		給 料	職員手当	期末勤勉手当		
令和5年度	177人	574,854千円	149,942千円	225,916千円	950,712千円	5,371千円

(注) 1 職員手当には退職手当、児童手当は含まれていません。
2 職員数は令和5年4月1日現在の人数です。

③職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況（令和4年4月1日現在）

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	38.5歳	271,295円	342,075円
消防職	35.0歳	263,776円	327,411円
技能労務職	51.4歳	265,378円	297,094円

(注) 1 「平均給料月額」とは、令和4年4月1日現在における各職種の職員の基本給の平均です。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

④職員の初任給の状況（令和4年4月1日現在）

区分		黒川地域行政事務組合	宮城県	国
一般行政職 消防職	大学卒	185,200円	192,500円	185,200円
	高校卒	154,600円	159,600円	154,600円
技能労務職	高校卒	151,900円	157,200円	151,900円

⑤職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（令和4年4月1日現在）

区分		経験年数 7年以上10年未満	経験年数 10年以上15年未満	経験年数 15年以上20年未満
一般行政職	大学卒	232,467円	253,200円	該当者なし
	高校卒	該当者なし	231,200円	該当者なし
消防職	大学卒	234,050円	259,933円	301,000円
	高校卒	203,800円	230,276円	265,700円
技能労務職	高校卒	該当者なし	該当者なし	該当者なし

⑥職員手当の状況（令和4年4月1日現在）

区分	内容及び支給単価
扶養手当 (国と同じ)	1 配偶者 6,500円 2 子 1人につき 10,000円 3 父母等 1人につき 6,500円 ※扶養親族である子のうち、満15歳に達する日以後最初の4月1日から満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子1人につき5,000円加算
住居手当 (国と同じ)	借家、借間に住居している職員 ア 月額27,000円以下の家賃を支払っている職員 家賃－16,000円 イ 月額27,000円を超える家賃を支払っている職員 (家賃－27,000円)×1/2+11,000円 (限度額 28,000円)
通勤手当 (国と同じ)	1 交通機関等の利用者 1箇月に要する運賃等(最も経済的かつ合理的なもの)で55,000円を限度として支給 2 自動車等の利用者(片道2km以上) 使用距離(片道)により、2,000円～31,600円

3 職員の分限及び懲戒処分の状況

①分限処分の状況

心身の故障による休職：1名

②懲戒処分の状況

該当者なし

家庭でできる3R!

10月は3R 推進月間です

皆さんは3Rという言葉をご存知ですか？

「Reduce (リデュース)」「Reuse (リユース)」「Recycle (リサイクル)」の頭文字をとって「3R」と呼ばれている、ごみの減量化を進めるための大切なキーワードです。

ごみが増えると焼却量が増え、地球温暖化が進んでしまいます。たとえ小さな行動でも、一人ひとりが減量化の意識をもって行動すれば、環境を守っていくことに繋がります。

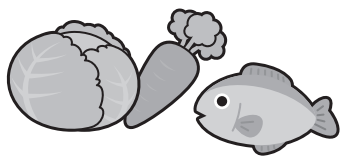
皆さんも今日から少しずつ、日常生活での3Rを意識してみましょう！

Reduce

(リデュース)

ごみの発生を減らすこと

食べきれぬ量だけ買う
必要な量だけ買い、食品
ロスを減らしましょう



買い物にはマイバッグを
持参する

ごみとなるレジ袋を減ら
しましょう

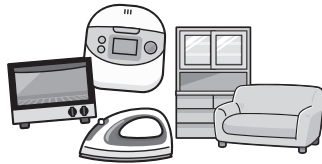


Reuse

(リユース)

捨てずに繰り返し使うこと

壊れた家具や家電は修理する
壊れても修理して繰り返し
使いましょう



リサイクルショップや
フリーマーケットを活用する
不要なものは人に譲り、中
古品の活用を検討しましょう



Recycle

(リサイクル)

資源を再利用すること

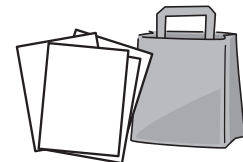
飲み物の容器はきちんと
分別する

びんや缶、ペットボトル
は分別して出しましょう



コピー用紙や紙袋は雑が
みの回収日に出す

紙類は、燃えるごみに出さず
資源として再利用しましょう



ごみ焼却施設から生じる焼却灰(飛灰)の放射性物質測定結果

(単位: Bq/kg)

採取年月	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和5年6月	不検出	58	58
令和5年7月	不検出	57	57
令和5年8月	不検出	42	42

基準値: 8,000Bq/kg

当組合では、地域の皆さまが安心できるよう、東日本大震災による東京電力福島原発事故後から現在まで、一般廃棄物最終処分場に埋立てしている焼却灰の放射性物質測定を実施しております。測定結果は、環境省で定める基準値を下回っており、埋立て後の最終処分場内の各種測定も基準値を超えるものは検出されておられません。今後も定期的に測定を実施します。

問い合わせ先 業務課 ☎345-6481

秋の火災予防運動

実施期間 令和5年11月9日(木)～11月15日(水)までの7日間

令和5年度全国統一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

幼年消防クラブ 任命式

今年度も幼年消防クラブの任命式を実施し、第1施設目として、もみじが丘幼稚園にて幼年消防クラブ任命式を行いました。

子どもたちは、法被を着用し、防火の誓いを宣言、その後任命書が授与されました。

消防車見学、防火講話、避難訓練等を実施し、将来の地域防災の担い手を育てています。



水難救助訓練

8月2日(水)・3日(木)の二日間、大衡村牛野ダム湖にて水難救助訓練を実施しました。

各隊員が資器材の取扱方法や要救助者へアプローチをかける際の注意事項等を改めて確認し、現場活動等において安全・確実・迅速に対応できるよう技術の向上を図りました。



訓練の様子



また、水難救助訓練と併せてボート取扱訓練を実施し、救命ボート資器材の扱いについて理解を深めました。

近年増加している水難事故や大雨災害等に備え、より一層技術の向上に努めます。

11月9日は「119番」の日

自治体消防発足40周年を記念し、現在の総務省消防庁(旧自治省)によって1987年に制定



はい！119番消防です。
火災ですか？救急ですか？

●令和4年 119番通報受付状況（1日平均14件）

	火災	救急	救助	警戒調査	通報訓練	まちがい	いたずら	病院照会	その他	合計
件数	39	3,963	42	5	363	203	16	53	492	5,176
総対比	0.8%	76.6%	0.8%	0.1%	7.0%	3.9%	0.3%	1.0%	9.5%	100.0%

●スマートフォンやスマートウォッチの衝突事故検出機能や誤作動による間違い通報が急増
間違えて通報してしまった場合は、「間違えました」と伝えてください。無言で切られてしまうと確認のため折り返し電話をかけます。状況によっては消防車や救急車が出動する場合があります。

●休日や夜間で救急車の要請を迷う場合は、下記にご相談ください。

「宮城県おとな救急電話相談」 #7119 または 022-706-7119
(平日 19時～翌8時・土曜14時～翌8時まで・日曜祝日24時間対応)

「宮城県子ども夜間安心コール」 #8000 または 022-212-9390
(毎日19時から翌8時まで)

上記以外として当消防本部(345-4161)にもお問い合わせください。

ただし、急に頭が痛い、胸が苦しいといった場合は、迷わず119番通報をしてください。

火災・救急・救助は119番へ
119番は あわてず・はっきりと・正確に

黒川地域消防本部指令課からのお願いです

救える命を救うために

応急手当の方法を電話口でお伝えしております

119番通報の内容により応急手当が必要な場合、通報者の方やその場に居合わせた方にご協力をお願いする場合があります。

胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸など、必要な応急手当を電話口でお伝えしますが、電話を持ちながらの応急手当は困難です。

有効な応急手当をしていただくためにも、スピーカー(ハンズフリー)機能の活用にご協力をお願いします。

当消防本部HPでは119番通報のポイントや通報時、現場到着時に気を付けていただきたいこと等のより詳しい情報を掲載していますので、いざという時に備えてぜひご覧ください。

救助工作車更新

8月30日(水)に新しい救助工作車が納車されました。

本車両は「救助工作車Ⅱ型」と呼ばれる車両で、全国で最も多く運用されており、フロントウインチャや車上クレーンを装備しているほか、「交通救助」、「建物救助」、「山岳救助」などあらゆる救助現場に対応できるよう、救助資機材も約200種類装備しています。

今までの車両と最も異なる特徴は、軽量化されたアルミ製ボディです。全国的に「消防車両の過積載」が問題視されていることから、車両本体を軽量化し可能な限り多くの装備品を積載する傾向にあります。当消防本部でも軽量化ボディを採用することで、従前より多くの装備品を積載することができました。

もう一つの特徴は、積載スペースが左右非対称となっている点です。全国的に見る救助工作車は、左右対称の積載スペースで広さなども同じになっています。本車両は現場隊員からの声を多く取り入れ、各現場を想定し取り扱い頻度の多い資機材とそうでないものを区分けすることで、より実用性の高い積載スペースになっています。



【車両諸元】

- ・全長 7830mm
- ・全幅 2320mm
- ・全高 3220mm
- ・総排気量 5120cc
- ・乗車人員 6人
- ・総重量 11960kg

救命講習のご案内 一般公募の普通救命講習会予定

普通救命講習

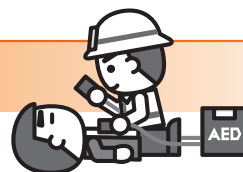
年月日	場所	時間等
令和5年 11月22日 (水)	黒川消防署	午後6時30分から 午後9時30分まで (3時間講習)
令和6年 1月24日 (水)	黒川消防署 大衡出張所	

上級救命講習

年月日	場所	時間等
令和5年 10月25日 (水)	黒川消防署 大衡出張所	午前9時から 午後5時まで (8時間講習)

申し込み先 消防本部警防課救急係

☎345-6888



骨粗鬆症
(コッソシヨウシヨウ)



副院長
整形外科医師 田中 正彦

骨粗鬆症という言葉をご存知でしょうか。聞いたことのある方はなんとなく骨がスカスカのイメージをお持ちかと思えます。骨粗鬆症の定義は「骨折の危険性が増した状態」になります。骨がスカスカになって折れそうになっているということですが、骨粗鬆症になると骨が痛くなると思われていますが、骨粗鬆症では何も症状はありません。骨粗鬆症の方が骨折を起こすと初めて痛みという症状が出現します。当院にもたくさん骨折患者さんが入院されています。特に多い骨折は腰椎圧迫骨折と大腿骨頸部骨折

(ふとももの付け根の骨折)の2つです。ほとんどの患者さんは骨粗鬆症の治療は受けておらず、そこに転んで骨折してしま

す。骨折は手術をしてリハビリをすれば元に戻ると思われがちですがそれは元氣な若者に限って言えることです。高齢の方が骨折してしまうと順調に治療が進んでも怪我をする前より歩いたり、動いたりする能力が低下します。それどころか大腿骨頸部骨折の患者さんの骨折後1年以内の死亡率は10〜20%と報告されています。一度骨折した患者さんは骨粗鬆症の治療をしないとまた次の骨折を起こすため、二次骨折予防の目的で骨粗鬆症の治療を行います。バランスの良い食事と適度な運動が基本ですが、食事と運動だけでは骨密度改善効果は弱く、薬による治療が必要になります。骨粗鬆症の治療で一番良いのは最初の骨折を起こさないように予防することです。骨粗鬆症に興味を持たれた方は黒川地域の各自治体の健康診断に骨粗鬆症検診がありますので受けてみて下さい。

脳卒中後のリハビリ
(CI療法)

病棟作業療法士 山口かなえ

脳卒中により、後遺症として失語や高次脳機能障害の他に運動麻痺や感覚障害が残存する方が全体の約7割を超えるといわれています。脳の損傷を受けた部位によって、症状は千差万別です。比較的新しい脳卒中後のリハビリテーションとして、CI療法 (constraint-induced movement therapy) があります。これは、非麻痺側上肢を三角巾等で固定し、麻痺側上肢を強制的に使用する治療法です。脳卒中治療ガイドラインでもグレードA (行うよう強く勧められる治療) とされています。日本だけでなく、アメリカやカナダ等の海外でも根拠を持って勧められる治療とされています。

具体的には1日3〜5時間×10日間麻痺側上肢を使用することで、脳の損傷を受けていない部位が、損傷を受けた部位に代わって麻痺側上肢を使用するネットワークを再構築することが分かっています。短期間で集

中してリハビリテーションを行うことで、効果が認められています。慢性期の脳卒中患者さんにも効果が認められており、CI療法後も効果が持続されるといわれています。大切なのは、日常生活で麻痺側上肢を使用することです。生活のなかで麻痺側上肢を使用しようとすることが結果的に機能向上へ繋がります。動かしにくい手を強制的に使用するため、患者さんによってはストレスを感じる方もいらっしゃると思います。出来る課題から無理なく行うことが大切ですが、患者さんの「良くなりたい!」という気持ち強い方が多く、最後は「やつてよかった」という感想を多くいただいております。※CI療法には適応基準があり、当院では医師の指導の下CI療法を行っております。



CI療法の様子

季節の料理のレシピ

「人参しりしり」

栄養室室長 小岩 陽子

人参の原産地はアフガニスタンであり、トルコを経てヨーロッパに伝わった西洋種とアジア東方に伝わった東洋種があります。現在日本で流通しているほとんどのものは西洋種になります。

緑黄色野菜の代表格でカロテンは人参の英語名「キャロット」に由来しています。カロテンは抗酸化作用があり、体内ではビタミンAに代わり働きます。ビタミンAは免疫力を高め、皮膚や粘膜を強くし、動脈硬化や老化予防に効果があると言われています。他にもカリウムや食物繊維も多く含まれ、カリウムは余分なナトリウムの排泄を促し血圧を下げる手助けやむくみの改善にも期待できます。

カロテンは皮の下に多く含まれているので、そのまま調理するか出来るだけ薄く皮を

むきましよう。脂溶性なので油などで調理すると体内への吸収がよくなります。

材料(2人分)

人参	150g
ツナ缶	50g
卵	1個
油	小さじ1
和風顆粒だし	小さじ1
塩	少々

作り方

- ①人参はきれいに洗い、千切りにします。
- ②フライパンに油を入れ、中火で人参を炒め、油切りしたツナ缶を入れます。
- ③人参に火が通ったら、和風だしを入れ塩で味を調整します。
- ④溶き卵を入れて軽く炒めれば出来上がり。



公立黒川病院からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類へ移行となりましたが、当院では、院内感染防止のため、院内でのマスク着用、入口での手指消毒、検温を引続き実施しております。

受付時間：平日 午前8:00～11:30 / 午後1:30～4:00
土曜 午前8:30～11:30

土曜 午後 及び、日曜・祝祭日・年末年始 は、全科休診です。

詳しい診療時間や予約方法については、下記のURLからホームページをご確認ください。

URL：<https://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/kurokawa/html/>

問い合わせ先 公立黒川病院 ☎345-3101

第45回黒川地区 婦人防火クラブ研修会

8月20日(日)、大和町まほろばホールにおいて、総勢305名による研修会を実施しました。本研修会は地域における火災予防意識の高揚及びクラブ員の融和



と団結を図り、地域から火災をなくすことを目的として行っており、今年4年ぶりにクラブ員が一堂に会しての研修となり、防火音頭等を披露しました。

宮城県

9・1総合防災訓練参加

9月1日(金)・2日(土)の二日間にわたり、総合防災訓練が石巻市で実施され、当消防本部からは3隊9名が参加しました。

4年ぶりに実施された本訓練は、災害時における防災活動の円滑化を目指すとともに、防災関係機関相互の協力体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図るもので、1日目には本訓練初の試みとして女性職員の宿営環境の検証もを行い、当消防本部からも女性職員1名が参加しました。



2日目には大規模災害を想定した土砂災害救出訓練等を行い、他の防災関係機関との協力体制を改めて確認しながら、災害対応力の強化を図りました。

限りない未来に向けて…広域行政

編集・発行／黒川地域行政事務組合 Kurokawa Area Administrative Association
〒981-3621 宮城県黒川郡大和町吉岡字下町15番地の1 TEL 022-345-1541 FAX 022-345-1543
ホームページ <https://www.kurogyou.jp> 電子メール info@kurogyou.jp